



岸辺になびく花たち、
やわらかに舞う蝶、
流れの音色、
川面をなでる緑風、
自然の恵みの中でここちよし

photo & text: 松原 修一

20 Aug. 2007

鉾山録

こうざんろく

登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉾山」ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織「モモンガくらぶ」
〒069-0021 登別市鉾山町8-3 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉾山
TEL/ 0143-85-2569 FAX/ 0143-81-5808
E-mail: kouzan@npo-momonga.org URL: <http://npo-momonga.org/>

New ふおれすと鉾山

text: 松原 修一

2007年4月より、ふおれすと鉾山の指定管理者として、NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶがこのセンターの管理を切り盛りすることになった。走り始めた新たな動きについて、センター長に聞いてみた。



センター長、3か月を振り返る。

4月から「新たなふおれすと鉾山」が動き出したわけですが、すべての準備が出来ていたわけではなく、走りながら調整をつつ利用者サービスの向上を目指しました。

バタバタの3ヶ月だった様な気がします。特に、スタッフには事務処理、会計管理、資料の整理など本来業務より裏方の仕事を多くお願いしてきました。モモンガとしてこれまでも「ふおれすと鉾山」には大きく関わってききましたが、いざ管理・運営となるとなかなか大変でした。

2007年、新たな歩みは。

これまでのコンセプトはそのままに、「みんなで創るふおれすと鉾山」を実践すべく

活動してきました。皆さんの「楽しい居場所」づくりをこふおれすと鉾山に求めている方が多くいる現実を踏まえ、ニーズの収集と集約、そしてそれを元実践をしていかなければならないと考えています。

子育て支援、人材育成、木育事業などを前面に、ボランティアの皆さんのお力を借りながら、ほんのわずかずつですが進化してきていると思います。また、ボランティアの献身的な活動をいただきつつ（トル）、施設の改修、備品の整理なども現在進行中です。利用者の皆様が活用しやすい、使いやすい施設を目指しています。

その他の各事業については順調に推移していますが、スタッフとしての満足度は「まだまだ」だと思っています。これからも活動の進化とともに

新しい事業や活動が生まれ出されていきます。そのためにボランティアとスタッフのスキルアップ、新規プログラムの開発、新たなフィールド発掘が求められると思っています。さらに、既存のネットワークの有効活用を展開しながら、新しい「つながり」を構築していきます。

ふおれすと鉾山は、人が織りなす活動だからこそ。

「人づくり」は今後の展開を考えると、必要不可欠、避けては通ることは出来ません。そのためには、当面は欲張らず、自分たちの力量にあった活動を展開をしていながら、その間、皆様からの的確なアドバイスや専門家からの知識、技術の吸収をしていきます。NPO法人モモンガくらぶの考え方を受け入れ、それを遂行し

ていただける仲間（ボランティア）を作っていかなければならないと考えています。

まだ、始まったばかりの指定管理、だが、休むことも甘えも許されません。トラブル発生も「みんなで創るふおれすと鉾山」実践のための糧として活用していきます。そしてバランスのいい組織を創り上げて利用者やボランティアの期待にそれるようがんばっていきます。皆様の絶大なご協力をお願いします。

スタッフ一同はプロとしての自覚をもち、知識構築、技術向上を目指しますので応援よろしくをお願いします。

最後に、このご支援、ご協力していただいた組織、個人、すべての皆様に感謝申し上げます。

Management & Program Direction ふおれすと鉾山のメインキャラクターたち



MJ 松原 修一：センター長
暇さえあれば、外にいろいろな自然の最新情報を持ち帰ってきてくれるMJ。鉾山の無数の山や沢を歩いてきた男。そして、鉾山の自然を愛する男。そして、最近は大工仕事にもチカラを注いでいる。たのしいネーミングをみんなで考えるのが好き。



はっち 大橋 祐介：PD
とにかくいろいろなことに挑戦している男。はっち。目下、鉾山の自然について、勉強し、フィールドワークをしている。今は出身校である室工大との協働プロジェクト「いっちはっちプレイス」づくりに精力を傾けている。体や顔をコミカルに操る、野球少年的日本男児。



みすたー 北川 浩二：PD
昆虫が大好きなやさしい頭脳派である。森を一步あるくたびに昆虫を見つけ、一人昆虫ワールドに没入。昆虫についての話題をふると、その昆虫にまつわるデータを余すことなく発信してくれる。主に学校対応のプログラムをメインに毎日毎日がんばっているよ！料理もうまい。



もんきー 西埜 将世：PD
もんきーがいるだけで、みんなが楽しくなるとっても貴重な存在。子ども事業の森のようちえんを担当しているが、その道を極めるべく保育士資格をとるためにがんばっている。ただし、もともと「森」に関わるのが大学の専攻なので、森づくりにも秘かな情熱を燃やしている。



えんめく 遠藤 潤：副センター長
豪快な笑い声とともに、周りの人をたのしい気持ちにしてくれるエンメグ。花や鳥にもくわしく、たのしくネイチャートークを繰り広げてくれるよ！最近森づくりにチカラを入れていて、ボランティアの皆さんとともに、鉾山の森の中でさわやかな汗を流している、かな？



よっしー 吉元 美穂：PD
仕事ははやく！みんながベチャクチャしゃべったことを、即データ化し、りっぱな事業に仕立て上げるスーパーウーマンなのです。そして、知らない人も多いけど実はクラフトウーマンでもあるんだよ。館内のあちこちにみほりんセンスが光っているよ！



うえだんな 上田 融：PD
自然をたのしく伝えるのが得意なプログラムづくりの職人的存在。熟練の手に達したディレクション芸は一見の価値あり。岐阜の川で生まれ育ったためか川での活動が大好きで、「水を得たうえだんな」状態になる。

Information

あかるくみんなを迎えてくれるおねえさん。



めぐみ & けんちゃん

受付：佐々木 めぐみ 受付：見玉 頸子
かわいいイラストで館内のアチコチに親切情報をつけてくれる。只今、鉾山のいろんなフィールド情報を勉強中！やさしく教えてくれるので、お気軽に声をかけてくださいね！休みの日には子どもと一緒に遊びに来てくれる。

Creaning & Repairs

センター内外のおそうじやよるの警備をしています。



清掃：谷口 勝彦
たにぐちさん



清掃：半田 金善
はんださん



清掃：高橋 絃臣
ひげ親方



清掃：船木 善良
ふなきさん

テキパキ仕事をこなし、ぼくたちが思いっきり活動して汚れた館内をそっと片付けてくれてます。ありがとうございます。実はKAG（コーザンネイチャーガイド）の資格を持っている人もいて、自然のことをいろいろ教えてくれるんだよ！皆さん、それぞれ自然に関わる趣味をもっていて、その話面白い。

里山をつくろう。

text: 遠藤 真

ふおれすと鉱山が目指すのは、
人と生活がつながる森づくり。

緑豊かな森、豊かな川、自然
美あふれる景色一。

コーザンの森は、一見そのよ
うな森に見えるとき多くの人がい
います。ところが、現状は、鉱
山として栄えた時代から、緑が
戻ってきている『再生』の途中
にある、弱々しい森なのです。

それに、いわゆる原生林（手
つかずの自然）ではなくて、ふ
おれすと鉱山周辺の森は、ひと
の手が入っていて、なおかつ、
里山的な森でありたいと、私た
ちは思っています。

里山という言葉は、北海道で
はあまりなじみのない言葉です。
簡単にいうと、ひとの生活と密
接につながっている、森のこと。
本州では、ひとの手入れをして、
生活の糧になるような森（例え
ば、薪炭林＝薪や炭をつくるた
めに育む森）を『里山』と呼ん
でいます。

コーザンの森は『里山』的に、
森や川でおもいっきり遊べたり、
ときには、花や木や生き物につ
いて学んだり、遊びや学びを通
して、たくさんの気づきが生ま
れる森として大活躍しています。
そこで、ある疑問が思い浮かん
だのです。たくさん楽しい遊び
がいっぱいできるけど、いまい
ち自分たちの生活と森との接点
を伝え切れてないなあ…。

そこで、山仕事をもっと知り
たいな、もっとつながりたいな、

山仕事をして、もっと森と仲良
くなりたいな、という気持ちを
込めて、今年から「里山づくり
ボランティアリーダー養成講
座」という事業をはじめました。

湿みすぎた木を伐（き）って、
材として使って大人の秘密基地
（ログハウス）をつくってみたり、
チェーンソーの達人が登場
して家具づくりを教えてください、
森づくりの達人にどんな森
になるかわりながら植樹をし
たり。きのこづくり、チェー
ンソーアートにも挑戦してみよう
かな。

そうです！要は、楽しい山仕
事入門編です。ここに、北海道
らしいコーザンエッセンスを加
えた『里山づくり』。これを実
施するために、山仕事のノウ
ハウをいろいろと学んじやうが
目的です。

森にひとの手が入ることで、
健康な森になり、そして、楽し
いお仕事も待っている！これは、
一石二鳥！また、『里山』は、
いろんな生き物が住みやすい森
（生物多様性）ともいわれてい
ます。虫や鳥や動物も楽しく暮
らせて、森の恵みをちょこっと
もらってひと楽しく暮らして
いく。コーザンらしい、里山づ
くりとは…。こんなことを考え
ながら、楽しく活動していきた
いなと思っています。



画：キタガワコウジ
ねおずから派遣の子ども事業ディレク
ター。たたき上げの力量でがんばる。



寸評：遊んでばかりいないで部屋もかたづけなはれ



寸評：子どもの絵日記か！

画：オオハシユウスケ
沢登りだけじゃなくて自然のこと、
野外行動技術などなどを修業中のさわや
か青年。

9月						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
10月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
11月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

9月	2日	沢登教室（4）美沢の滝
	13日	森のサロン
	8-9日	コーザン・ネイチャーガイド養成講座（4）
	15-16日	森林ボランティア養成講座（2）
	15-16日	子ども自然博士講座（2）
	22日	ながぐつレンジャー・もりもり森ン子くらぶ
	22-23日	もりのようちえん
	23日	沢登教室（5）三段の滝
	24日	猛きん渡り調査
	30日	コーザン・グリーンレース2007
10月	6-7日	コーザン・ネイチャーガイド養成講座（5）
	6-7日	子ども自然博士講座（3）
	14日	秋のハイキング
	20-21日	森林ボランティア養成講座（3）
	21日	森のサロン
	27日	ながぐつレンジャー・もりもり森ン子くらぶ
	27-28日	もりのようちえん
11月	13日	森のサロン
	17-18日	森林ボランティア養成講座（4）
	24日	ながぐつレンジャー・もりもり森ン子くらぶ
	24-25日	もりのようちえん

イベントPICK UP

2007 9.30 コーザン・グリーンレース

普段、街中で行われているジョギングを森の中でやったとしたら、
 もっとカラダにいいような気がするんだよね・・・」
 ふおれすと鉱山にやってきた あるランナーのつぶやきが
 きっかけとなってこのコーザン・グリーンレースは生まれました
 美しい森と溪流に沿うように伸びる未舗装の林道を走りませんか？

KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館9:00～17:30 入館料・無料

休館日：4月、11月～3月は毎週月曜日／5月～10月の間は第4月曜日

（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります）

- ・木工室・森の図書室はご自由に使用いただけます。そのほかに双眼鏡、歩くスキー、マウンテンバイク、調理台などをご利用いただけます。
- ・ふおれすと鉱山は、宿泊型体験施設です。宿泊を希望される方は、下記連絡先へお問い合わせください。
- ・森のおうちのご利用も可能です。
- ・その他ご不明な点は、下記連絡先へ。

鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

今が旬のMYテーマといえば、なんといっても「食べもの」。
 毎日毎食いただくものだから、心にも体にも気持ちいいものを...と思っているが、スタッフ含め昼食の摂取度NO1はカップラーメン！やつぱり、早いので手間いらずで...ばたばたの日中にはつつい手手が伸びちゃうんだなあ...。だけど、今年はやりませ。コーザン流食育！この秋、幕開けさせると。

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.20

発行：2007年8月

発行所：〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号：0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail：kouzan@npo-momonga.org

URL：http://npo-momonga.org/